

2021年 秋 兵庫県市川町が 熱くなる!!



国産ゴルフアイアンヘッド発祥の地

第5回

市川町ゴルフまつり



と き

2021年
9月21日(火)～26日(日)

と ころ

市川町内の協力施設・店舗

- アイアン製造工場見学会
- フリーマーケット・キッチンカー
- 子ども向けイベント
- 地クラブ試打会
- ゴルフレッスン
- その他

お問い合わせ

市川町ゴルフまつり実行委員会事務局

(市川町地域振興課内)

〒679-2392 兵庫県神崎郡市川町西川辺165-3

TEL:0790-26-1015



【市川町HP】



【Facebook】



【Instagram】

国産ゴルフアイアンヘッド発祥の地



兵庫県市川町

国産ゴルフアイアンヘッド誕生の歴史

市川町が発祥の地となった由来は、昭和3年頃に三木市にある広野ゴルフ倶楽部の造成工事が始まり、近くにあった兵庫県工業試験場三木分場にグリーンのホールカップ切りと一緒に、アイアンヘッドが研究材料として持ち込まれたことがきっかけでした。

試験場の担当者であった松岡文治氏は、親類であった市川町の森田清太郎氏に協力を依頼しました。試行錯誤の中、様々な人の協力により、昭和5年に国産初のアイアンヘッドが市川町で誕生しました。

森田氏は、制作したゴルフヘッドを大阪東区にあった運道具メーカーの美津濃(現ミスノ)に持ち込み、ヒッコリーシャフトをつけた国産第1号のアイアンクラブが完成しました。



アイアンヘッド製造の歴史

国産アイアンヘッドが完成した当時の製造法は、50センチ前後の鋼の棒を火入れし、大ツチでたたき、平たく延ばしてヘッドのフェイスの角度を決めていました。高度な刀鍛冶技術をもつ森田氏やアイアンヘッドの研究を重ねた松岡氏でも、3個に1個の完成品ができる程度で相当な苦労を重ねていたと思われます。

その後、第二次世界大戦中、ゴルフクラブ製造業は、軍刀などの製造に変わり、職人は出征や徴用などでゴルフどころではありませんでした。

昭和25年、森田ゴルフがアイアンヘッドの製造を再開し、国産ゴルフクラブの製造が復活していきました。森田ゴルフの職人たちは、その後独立し、最盛期には国内製品の60%を兵庫県で生産したといわれています。

今でも市川町には、精密軟鉄鍛造アイアンヘッドを製造する事業所が操業しており、各メーカーのアイアンヘッドは世界のゴルファーを魅了しています。



市川町ゴルフまつり実行委員会

国産ゴルフアイアンヘッド発祥の地である市川町を盛り上げるため、行政と民間が一体となり結成されました。ゴルフを軸にしたイベント「市川町ゴルフまつり」は、地場産業であるクラブ製造業者と飲食業者などが協力して開催し、地域活性化に貢献しています。

市川町の
ゴルフアイアンは、
ふるさと納税の
返礼品としても人気です。

<https://www.rakuten.ne.jp/gold/f284424-ichikawa/c/golf/>



参考文献:「ゴルフ用品業界総覧」(株)ユニバーサルゴルフ社、1993年

お問い合わせ

市川町ゴルフまつり実行委員会事務局

(市川町地域振興課内)

〒679-2392 兵庫県神崎郡市川町西川辺 165-3

TEL: 0790-26-1015 FAX: 0790-26-3121

Mail: shinkou@town.ichikawa.lg.jp



【市川町 HP】



【Facebook】



【Instagram】